

法人運営分野

① 理事会評議員
会の開催・監
査の実施

(1)理事会

6月20日の評議員会で理事・監事の選任決議が可決され、翌日21日に会長・副会長の選任決議を行った。理事は、地域の福祉関係者、地域の代表者として自治会長会会長、社会福祉事業を営むものとして社会福祉法人の理事長、ボランティアの代表や学識経験者を含めた8名
会長に安藤修平氏、副会長に宮内誠氏が就任した。
また、苦情解決第三者委員を水谷勝利氏、橋本美千代氏に委嘱した。

[任期：令和元年6月20日から令和3年定時評議員会の終結の時まで]

6月5日(水)	① 臨時職員等就業規則の改正について（当番手当の創設） ② 平成30年度事業報告について ③ 平成30年度一般会計決算について ④ 令和元年度一般会計収支補正予算(案)について ⑤ 評議員選任候補者の推薦について ⑥ 評議員会の日程と招集理由について
6月21日(金)	① 会長の選任について ② 副会長の選任について ③ 苦情解決第三者委員の選任について
10月30日(水)	① 東員町による監査の報告 ② 令和元年度事業経過報告（9月末現在） ③ 臨時職員等就業規則の改正について（生活支援員の賃金改正）
12月19日(水)	① 給与規程の改正について（給料表の改定） ② 令和元年度一般会計収支補正予算（案）について ③ 評議員会の日程と招集理由について
3月18日（水）	① 定款変更について（地域包括支援センター事業を追加） ② 東員町指定介護予防事業所（東員町地域包括支援センター）運営規程について ③ 経理規程の改正について（地域包括支援センターの変更） ④ 事務局規程の改正について（組織変更並びに新たな職制を創設） ⑤ 給与規程の改正について（職制の創設に伴い給料支給の基準を改定） ⑥ 処務規程の改正について（職制の創設に伴い決裁区分等を改定） ⑦ 臨時職員等就業規則の改正について（社会福祉士の創設等） ⑧ 令和元年度一般会計収支補正予算（案）について ⑨ 令和2年度事業計画（案）について ⑩ 令和2年度一般会計収支予算（案）について ⑪ 令和2年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について ⑫ 評議員会の日程と招集理由について

(2)理事研修

理事が運営判断をするための材料として、以下の研修を行った。

① 開催日 9月11日(水)

会 場 : 三重地方自治労働文化センター

主 催 : 三重県社会福祉協議会

内 容 : 講演「地域づくりとSDGs」

パネルディスカッション「協働の手法」

講 師 : 特定非営利活動法人Mブリッジ代表理事 米山哲司 氏

発 表 者 : 東員町社会福祉協議会 主査 秋葉真人

議 題：「パナーによる地域循環のしくみ」

参加者：5名

(3) 評議員会

自治会長会副会長、社会福祉事業を経営する団体の役職員、ボランティア活動を行う団体の代表者を含め、14人の評議員が就任している。

[任期：平成29年4月1日から選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで]

6月20日(木)	① 理事及び監事の選任について ② 平成30年度事業報告について ③ 平成30年度一般会計決算について ④ 令和元年度一般会計収支補正予算(案)について
12月26日(木)	① 令和元年度一般会計収支補正予算(案)について
3月26日(木)	① 理事の選任について ② 定款変更について(地域包括支援センター事業を追加) ③ 令和元年度一般会計収支補正予算(案)について ④ 令和2年度事業計画(案)について ⑤ 令和2年度一般会計収支予算(案)について ⑥ 令和2年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について

(4) 監査

① 5月29日(水) 平成30年度事業報告・一般会計収支決算の監査

② 12月11日(水) 令和元年度前期事業・一般会計収支決算の監査

② 会員の募集

『ふくしのわ』春号で全町民に呼び掛けると共に、全地区の自治会長に協力いただいた。また、地域福祉座談会開催地区やシニアカレッジで社協の役割と実践を説明した。

① 戸別会費 5月

2,729,462円(前年度比 97.8%)

5,459世帯(東員町世帯数から算出した加入率 56.0%) (前年度比95.5%)

(自治会加入世帯数から算出した加入率66.7%)(前年度比97.5%)

② 特別会費 7~8月

23団体を訪問し、特別会員への加入を呼びかけた。

805,000円(前年度比 101.0%)

特別会員へお礼状と共に福祉のつどいの案内を送付し、会費によって地域福祉の啓発事業をしていることを伝えた(10月末発送)

③ 苦情要望の受付

(1) 苦情の受付

* 特別会費 1件

* 通所介護 1件

第三者委員会に報告する案件はなし

④ 体制の充実

(1) 運営会議・運営役席会議・連絡会議

社協運営に関わる課題について協議し調整した。

(2) 職員4人による地域包括支援センター受託にかかるプロジェクトチームを発足し、7月30日『「できない事への支援」ではなく「活躍するための支援」へ』という報告書を提出した。

(3) 総務福祉係

① 総務福祉係のスローガン決定

総務福祉係は何を目指して業務にあたるのか、をスローガンにし、常に意識して業務できるようにスローガンをパソコンの壁紙・スクリーンセイバーに入れた。『一緒に暮らそに、とういんで』

② 基本方針

会費や共同募金配分金で地域活動を応援し、会費や共同募金の理解を拡大する。この循環によってだれもが住みよい町づくりを進める。会費や共同募金配分金をどのように循環させて地域福祉活動を応援し、だれもが住みよい町づくりをすすめることを意識して業務にあたった。

<p>⑤ 職員研修</p>	<p>(1)内部研修 総務福祉係 のべ13回(すべて係内で伝達研修をした) 施設事業係 居宅介護支援：定例会47回 外部研修24 訪問介護：ヘルパーミーティング月1回 外部研修3回 通所介護 内部研修8回 外部研修4回</p> <p>(2)全体研修 開催日：11月2日(土) 内容：認知症映画上映会『ぼけますからよろしく』から学ぶ 参加者：10人</p> <p>(3)人権研修 ① 開催日：5月25日(土) 講師：NPO法人太陽の家 理事長 対馬あさみ氏 参加者：職員25人</p> <p>(4)総務福祉系の外部研修 ① 専門性を高めるための研修に偏りがちなので、係員ひとりひとりが目指すものを明確にして個別研修計画をつくった。 ② 「地域福祉実践研究フォーラム2019みえ」に出席し、地域福祉の実践の場について学んだ。 講師：東員町社会福祉協議会 総務福祉係 係長 伊藤 真理 議題：「課題を探さない地域づくり～Wishから始めるとこんなに楽しい～」 ③ 中津川市社協と意見交換 11月20日(水)中津川市社会福祉協議会で、「福祉サービスを受けている方もご近所の付き合いを続けられる町づくり」について意見交換した。 ④ SNSの研修 地域福祉担当者がをSNSを活用した効果的な広報活動を学んだ。 今のフェイスブックの使い方は、その特性を生かしていないことがわかった。東員町社協の地域福祉推進に合うSNS広報を係から提案した。 ⑤ 「仕事の失敗を積極的に活用しよう」活動 総務福祉系の業務過程で発生した「些細な失敗」を係員で共有して学んだ。 2件(うっかり忘れ防止、再確認の大切さなど)</p>
<p>⑥ 寄付金の受付</p>	<p>(1)寄付 寄付者名を『広報とういん』に掲載した。 寄附金額 1,911,030円 (81件) (前年度比65.6%) 要因：香典による寄付が主なものであるが、近年、家族葬の増加により減少していると考えられる。 寄付者名をホームページに掲載した。(毎月1回更新)</p> <p>(2)バナー広告 新たな財源確保と地域福祉に関心を寄せる方の拡大を目的にバナー広告を継続した。 広告掲載料1ヶ月1,000円 16社 (186,000円)</p>
<p>⑦ 日本赤十字社 社資増強運動</p>	<p>日本赤十字社の理解促進のため町内で啓発した。</p> <p>① 啓発活動 5月14日(火) 三岐鉄道北勢線 東員駅 穴太駅 三岐線 北勢中央公園口駅 三重交通城山バス停 9月22日(日) わくわくフェスティバルで、日赤点訳奉仕団(東員点訳友の会)と災害時緊急食糧炊き出し訓練(蒸しパン)を行った。</p> <p>② 特別会員の募集 4月11日(木)社協主催の自治会長会で説明してご協力をお願いした 令和元年度実績額 2,760,728円(前年度比 98.6%)</p>
<p>⑧ 安全衛生委員会</p>	<p>毎月1回、各部署の代表者が集まり、介護休暇の取得、婦人科検診、職域のヒヤリハットなどについて話しあって労働衛生の向上に努めた。</p>

地域福祉分野

<p>⑨ 福祉のつどい</p>	<p>高齢になっても、障がいがあっても介護保険の適用になっても、誰もが支えあい活動などの地域活動に参加し、そのことによって、周りの方も自分も一緒に元気でいられることを講演会で学んだ。 その後”支えあい活動”の実践者が各ブースに分かれてその活動を紹介し、身近な地域で実際に行われている地域福祉活動に触れることができた。 日 時 令和2年1月11日(土) 13:30～16:00 会 場 東員町保健福祉センター ホール テーマ 「みんなが集い活躍する”支えあい活動”とは」 講 師 mottoひょうご 事務局長 栗木 剛 氏 参加者 150名 支えあい団体(平成30年度までに登録いただいた団体のうちご承諾くださった10団体) (“お茶しませんか”“健遊会”“瀬古泉カフェ”“カフェとっとり”“カフェみなみ” “ろくちゃんカフェ”“カフェにしよん”“あさがおカフェ” 中上地区見守り会議 大木地区地域福祉委員会)</p>																							
<p>⑩ 『ふくしのわ』の発行</p>	<p>4月19日、7月5日、10月4日、1月17日に発行し、地域福祉座談会の取組や地域福祉活動、子育て支援の実例を多く紹介した。 ※各戸配布、配架場所(役場、保健福祉センター、文化センター、笹尾連絡所、笹尾コミュニティセンター)</p> <table border="1" data-bbox="430 873 1420 1579"> <thead> <tr> <th>発行日</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4月19日</td> <td>表紙</td> <td>シニアカレッジ卒業式</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>社協会費・日赤社費、令和元年度事業計画・予算、シニアカレッジ募集衣料回収、赤い羽根共同募金実績報告、地域の宝物、災害ボランティア子育て支援情報、勤労体験学習、日常生活自立支援事業、車両貸出</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7月5日</td> <td>表紙</td> <td>東員町のカフェ(城山3丁目地区「さくらカフェ」、北大社地区「café chat yashiro」)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>役員紹介、社協特別会費、平成30年度事業報告・決算 地域の宝物、ふれあいカフェ、勤労体験学習、子育て支援情報、食中毒予防講習会、ふれあい型配食サービス事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月4日</td> <td>表紙</td> <td>笹尾東4丁目見守り水道検針隊</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>社協戸別会費・日赤協会会費実績報告、地域福祉座談会 赤い羽根共同募金・会長あいさつ、中上外出サポート活動 とういん災害ささえあい委員会、福祉のつどい&支えあいフェス 町内豪雨災害への対応、東員子育て支援ネット・お知らせコーナー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1月17日</td> <td>表紙</td> <td>八幡新田見守りネットワーク</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>会長あいさつ、表彰、食糧品寄贈、特別会費実績報告 赤い羽根共同募金活動、送迎車両貸出事業、企業CSR活動 バナー広告募集、東員子育て支援ネット、地域ボランティア 心配ごと相談・無料弁護士相談、お知らせコーナー</td> </tr> </tbody> </table>	発行日	内容		4月19日	表紙	シニアカレッジ卒業式	内容	社協会費・日赤社費、令和元年度事業計画・予算、シニアカレッジ募集衣料回収、赤い羽根共同募金実績報告、地域の宝物、災害ボランティア子育て支援情報、勤労体験学習、日常生活自立支援事業、車両貸出	7月5日	表紙	東員町のカフェ(城山3丁目地区「さくらカフェ」、北大社地区「café chat yashiro」)	内容	役員紹介、社協特別会費、平成30年度事業報告・決算 地域の宝物、ふれあいカフェ、勤労体験学習、子育て支援情報、食中毒予防講習会、ふれあい型配食サービス事業	10月4日	表紙	笹尾東4丁目見守り水道検針隊	内容	社協戸別会費・日赤協会会費実績報告、地域福祉座談会 赤い羽根共同募金・会長あいさつ、中上外出サポート活動 とういん災害ささえあい委員会、福祉のつどい&支えあいフェス 町内豪雨災害への対応、東員子育て支援ネット・お知らせコーナー	1月17日	表紙	八幡新田見守りネットワーク	内容	会長あいさつ、表彰、食糧品寄贈、特別会費実績報告 赤い羽根共同募金活動、送迎車両貸出事業、企業CSR活動 バナー広告募集、東員子育て支援ネット、地域ボランティア 心配ごと相談・無料弁護士相談、お知らせコーナー
発行日	内容																							
4月19日	表紙	シニアカレッジ卒業式																						
	内容	社協会費・日赤社費、令和元年度事業計画・予算、シニアカレッジ募集衣料回収、赤い羽根共同募金実績報告、地域の宝物、災害ボランティア子育て支援情報、勤労体験学習、日常生活自立支援事業、車両貸出																						
7月5日	表紙	東員町のカフェ(城山3丁目地区「さくらカフェ」、北大社地区「café chat yashiro」)																						
	内容	役員紹介、社協特別会費、平成30年度事業報告・決算 地域の宝物、ふれあいカフェ、勤労体験学習、子育て支援情報、食中毒予防講習会、ふれあい型配食サービス事業																						
10月4日	表紙	笹尾東4丁目見守り水道検針隊																						
	内容	社協戸別会費・日赤協会会費実績報告、地域福祉座談会 赤い羽根共同募金・会長あいさつ、中上外出サポート活動 とういん災害ささえあい委員会、福祉のつどい&支えあいフェス 町内豪雨災害への対応、東員子育て支援ネット・お知らせコーナー																						
1月17日	表紙	八幡新田見守りネットワーク																						
	内容	会長あいさつ、表彰、食糧品寄贈、特別会費実績報告 赤い羽根共同募金活動、送迎車両貸出事業、企業CSR活動 バナー広告募集、東員子育て支援ネット、地域ボランティア 心配ごと相談・無料弁護士相談、お知らせコーナー																						
<p>⑪ ホームページの運営</p>	<p>常に最新情報を掲出し、今の東員町の地域福祉活動をだれもが把握できるようにした。SNSを有効に活用した発信方法を研究中です。 * HPアクセス件数 385,603件 Facebookアクセス件数 24,403件</p>																							
<p>⑫ 民生委員児童委員協議会との協働</p>	<p>民生委員児童委員協議会の事務局として、定例会、役員会の事務を担った。 * 役員会(4/3.6/6.8/7.9/4.10/1.12/4.2/5.3/4) * 定例会(4/16.6/18.8/20.9/17.10/15.12/20.2/18.3/17) * 改選に伴い臨時会12/2開催 役員選出を行った。 * 低所得者への支援として、食糧募集を行い三重県社協に寄付を行った。 * 令和元年度民生委員児童委員の活動計画に基づく事業の実施した。 * ブロック別の活動、分野別活動を事務局として支援した。</p>																							

<p>⑬ 地域支えあい 推進事業</p>	<p>(1)自治会長会 ① 4月11日(木) 社協の事業説明と会費の説明をした。 9割以上の自治会長様が情報交換の機会を希望していることがわかった。 ② 9月19日(木) 4月に開催した自治会長会でご希望をいただいたテーマで情報交換する予定だったが、9月4日に豪雨災害が発生したため予定を変更した。 9月4日(水)豪雨の状況と自治会の対応を、中上地区自治会長と長深地区自治会長からお話いただいた。 ご出席くださった自治会長さん全員が「防災について話し合う機会があると良い」というご意見であった。 (2)自治会活動の紹介 六把野新田、笹尾東4丁目、笹尾祭り、すくね祭りなど、地域の活動を取材してホームページで紹介した。</p>																											
<p>⑭ 地域福祉座談会</p>	<p>(1)新規に開催した自治会（全自治会の約73%・17地区で実施） 山田自治会、長深自治会 (2)実施状況（地区順）</p> <table border="1" data-bbox="432 768 1422 1937"> <tr> <td>筑紫</td> <td></td> <td>(名称) 筑紫地区地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし</td> </tr> <tr> <td>穴太</td> <td>5回</td> <td>(名称) 穴太福祉座談会 見守り記録表を確認 ⇒ “さりげなく見守る” 気になる世帯、お茶会について など</td> </tr> <tr> <td>瀬古泉</td> <td>6回</td> <td>(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会 各団体の活動状況、瀬古泉カフェ、 三世代グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、 小規模災害時の避難場所について など *会のことを地域の人に知ってもらいたい ⇒ 令和元年11月「瀬古泉ニュース」を開始 *カフェで託児ができないか ⇒ 1回実施</td> </tr> <tr> <td>山田</td> <td>10回</td> <td>(名称) 山田地区地域福祉座談会 やまだ「和」「輪」の立上について など ⇒ 令和元年8月「やまだ家」オープン</td> </tr> <tr> <td>鳥取</td> <td>1回</td> <td>(名称) 鳥取地区地域福祉座談会 カフェとっとり、地域での見守りについて など</td> </tr> <tr> <td>八幡新田</td> <td>5回</td> <td>(名称) 八幡新田見守りネットワーク座談会 見守り対象者一覧表を確認 ⇒ “さりげなく…” “ちょっと気にかけて” *お出かけに困っている方の一助になれば ⇒ 令和元年12月「やはたおでかけサポート」を開始</td> </tr> <tr> <td>大木</td> <td>10回</td> <td>(名称) 大木地区地域福祉委員会 地域福祉委員会、大木カフェ、 粗大ごみ運搬のお手伝いについて など *地域で楽しくふれあいを ⇒ カフェで子どもたちとゲーム、クリスマス会</td> </tr> <tr> <td>南大社</td> <td></td> <td>(名称) 南大社地区地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし</td> </tr> <tr> <td>長深</td> <td>1回</td> <td>(名称) 長深地区地域福祉座談会 座談会と支えあい活動（カフェ活動）について ⇒ 令和元年11月「ふれあいカフェちょうわ」オープン</td> </tr> </table>	筑紫		(名称) 筑紫地区地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし	穴太	5回	(名称) 穴太福祉座談会 見守り記録表を確認 ⇒ “さりげなく見守る” 気になる世帯、お茶会について など	瀬古泉	6回	(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会 各団体の活動状況、瀬古泉カフェ、 三世代グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、 小規模災害時の避難場所について など *会のことを地域の人に知ってもらいたい ⇒ 令和元年11月「瀬古泉ニュース」を開始 *カフェで託児ができないか ⇒ 1回実施	山田	10回	(名称) 山田地区地域福祉座談会 やまだ「和」「輪」の立上について など ⇒ 令和元年8月「やまだ家」オープン	鳥取	1回	(名称) 鳥取地区地域福祉座談会 カフェとっとり、地域での見守りについて など	八幡新田	5回	(名称) 八幡新田見守りネットワーク座談会 見守り対象者一覧表を確認 ⇒ “さりげなく…” “ちょっと気にかけて” *お出かけに困っている方の一助になれば ⇒ 令和元年12月「やはたおでかけサポート」を開始	大木	10回	(名称) 大木地区地域福祉委員会 地域福祉委員会、大木カフェ、 粗大ごみ運搬のお手伝いについて など *地域で楽しくふれあいを ⇒ カフェで子どもたちとゲーム、クリスマス会	南大社		(名称) 南大社地区地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし	長深	1回	(名称) 長深地区地域福祉座談会 座談会と支えあい活動（カフェ活動）について ⇒ 令和元年11月「ふれあいカフェちょうわ」オープン
筑紫		(名称) 筑紫地区地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし																										
穴太	5回	(名称) 穴太福祉座談会 見守り記録表を確認 ⇒ “さりげなく見守る” 気になる世帯、お茶会について など																										
瀬古泉	6回	(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会 各団体の活動状況、瀬古泉カフェ、 三世代グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、 小規模災害時の避難場所について など *会のことを地域の人に知ってもらいたい ⇒ 令和元年11月「瀬古泉ニュース」を開始 *カフェで託児ができないか ⇒ 1回実施																										
山田	10回	(名称) 山田地区地域福祉座談会 やまだ「和」「輪」の立上について など ⇒ 令和元年8月「やまだ家」オープン																										
鳥取	1回	(名称) 鳥取地区地域福祉座談会 カフェとっとり、地域での見守りについて など																										
八幡新田	5回	(名称) 八幡新田見守りネットワーク座談会 見守り対象者一覧表を確認 ⇒ “さりげなく…” “ちょっと気にかけて” *お出かけに困っている方の一助になれば ⇒ 令和元年12月「やはたおでかけサポート」を開始																										
大木	10回	(名称) 大木地区地域福祉委員会 地域福祉委員会、大木カフェ、 粗大ごみ運搬のお手伝いについて など *地域で楽しくふれあいを ⇒ カフェで子どもたちとゲーム、クリスマス会																										
南大社		(名称) 南大社地区地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし																										
長深	1回	(名称) 長深地区地域福祉座談会 座談会と支えあい活動（カフェ活動）について ⇒ 令和元年11月「ふれあいカフェちょうわ」オープン																										

中上	12回	(名称) 中上地区見守り会議
		地域の気になる方の見守り報告、各団体の活動報告、中上外出サポート活動、にゃんにゃんの家、粗大ごみ運搬支援、豪雨の話題について など * 地域みんなが寄ってくるような場を ⇒ センターで「パブリックビューイング」を実施
笹尾西1丁目		(名称) 笹尾西1丁目地域福祉座談会 ※令和元年度は実施なし
笹尾東1丁目	5回	(名称) 笹尾東1丁目地域福祉座談会
		見守り報告書、資源ごみ回収、救急医療情報キット、お茶を飲んでおしゃべりできる場について など * 見守り報告書の備考欄を利用したアンケートを実施 ⇒ 資源ごみ戸別回収を令和元年12月回収日から実施 ⇒ 救急医療情報キットを自治会で一括申請
笹尾東2丁目	1回	(名称) 笹尾東2丁目地区地域福祉座談会 暮らしの中で気になっていることについて など
笹尾東4丁目	7回	(名称) 笹尾東4丁目地区見守り会議
		地域の中で気になる人・気になること、各団体の活動状況、ラジオ体操、家具の転倒防止、資源ごみ回収、粗大ごみ運搬支援、災害対策について など * 地域を見守るにはどういった方法があるのか ⇒ 令和元年5月から「笹尾東4丁目見守り水道検針隊」をスタート
城山1丁目	9回	(名称) 城山1丁目地区座談会
		子どもから高齢者まで多世代が交流できる場がほしい ⇒ 「城山1丁目わくわく交流広場」 ⇒ わくわく交流広場推進部会の立ち上げへ ゴミ拾い落ち葉拾い支え合い活動について
城山2丁目	1回	(名称) 城山2丁目地区座談会 麻雀やカフェによる交流 救急医療情報キットによる見守りについて など
城山3丁目	5回	(名称) 城山3丁目地区座談会
		城山3丁目に住んで良かったと思うこと、今後どんな城山3丁目に住みたいか、各団体の活動状況 など * 誰もが好きな時に来て好きなようにおしゃべり ⇒ 令和元年5月「3丁目さくらカフェ」オープン

※笹尾西2丁目では、平成31年4月に座談会に関する話し合いを実施。
 ※上記以外の地区でも、座談会活動と似た話し合いを実施している地区があるが、社協が関わっていないため、地域福祉座談会開催地区に含んでいません。

<p>⑮ 生活支援体制整備事業</p>	<p>住民相互の支えあい機能の強化に限らず、企業も含めた町域での生活支援体制の整備を目指した。</p> <p>(1) 地域福祉座談会のみなさんへ</p> <p>① 座談会に参加して“暮らしやすさ”について考え実践しやすいようファシリテートした。</p> <p>② 個人の困りごとへの支援をみんなで考え対応することがだれもが安心して暮らせる地域づくりになることを伝えた。</p> <p>(2) 地域のみなさんへ</p> <p>① 一見福祉と関係がないような活動であっても「知っている人どうし」の関係が自然な支えあいの基盤になることを伝えた。このことをより多くの人に伝えるため、福祉分野に限らず多様な活動取材してホームページで紹介し「知っている」人どうしの支えあいが生まれるよう働きかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北友会(長深) 将棋を楽しむ仲間(町域) 折り紙サークル(西1) 石取祭・獅子舞(六把野新田) パソコン教室(城山3) 麻雀(城2.城3) 歌謡祭(大木) すくね祭(中上) 城山ビアガーデン(城山) 防災訓練(八幡新田・中上) さくら会(東4) 他 <p>② ホームページや『ふくしのわ』で支えあい活動の必要性や実施状況を随時公開し、活動の機運を高めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページでほぼ毎日地域活動を公開 ・ 『ふくしのわ』毎号に掲載 <p>③ 福祉のつどいで“支えあいフェス”の時間を設け、支えあい活動の必要性と町内の実践を伝える予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “お茶しませんか”“健遊会”“瀬古泉カフェ”“カフェとっとり”“ろくちゃんカフェ”“カフェにしよん”“カフェみなみ” “あさがおカフェ”中上地区見守り会議 大木地区地域福祉委員会 <p>④ 自治会主催の行事にできる限り出向き、自治会活動が支えあい意識の基盤になっていることを伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 六把野ユニカール 西2親睦会 東2親睦会 六把野新田石取祭 ゲーム&焼きそば大会(東4) 歌謡祭(大木) すくね祭(中上) 防災訓練(中上・鳥取・八幡) 敬老会(北大社.大木.中上.東1)他 <p>⑤ 多様な属性に合う「つながりの場」が複数必要であることをお伝えした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム&焼きそば大会(東4) カフェみなみ(南大社) さくら会(東4) ユニカール大会(六把野) 六把野新田石取祭青年団のみなさん、六把野新田子ども会のみなさん他 <p>(3) 福祉事業所の専門職へ</p> <p>① 住民による自由で気楽な支え合い活動は専門職のサービスを補助するのではなく、専門職のサービスと同等に展開されるものであること。誰もが自分らしく暮らし続けられるようにするためには専門サービスと地域活動が共に必要であることを伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議(毎月2回) ・ 運営会議(笹尾デイサービスセンターみんなの家.城山みんなの家、桜) ・ 紫苑と話し合い(7/23) <p>② ご利用者様が無理なく地域で暮らし続けられるために、地域の方にどのように働きかけるとよいか、情報を伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議(毎月2回) ・ ケアマネジャーからの問い合わせ 2件
---------------------	--

- (4) 支えあい活動をしているみなさんへ
- ① 支えあい活動登録制度への登録を推奨した。地域ボランティア制度の活用、活動者どうしの交流、LINEグループによる情報交換を促進した。
 - ・ 支えあい活動に登録：“カフェみなみ” “健遊会” “やまだ家”
 - ・ LINEグループに参加している団体：6団体 15人
 - LINE投稿数：48回(9/30まで) 113回
 - ② 活動の目的を達成するために活用できる補助金の情報を伝達し、必要に応じて提出書類の準備をお手伝いした。
 - ・ “3丁目さくらカフェ” “Café Chat(雑談) Yashiro” 山田地区在住の女性 長深地区 山田地区(“山田家”) 八幡新田外出活動 笹尾東1丁目地域福祉座談会
 - ③ 実践者に活動発表していただき、活動に社会的意義があることを確認していただく。
 - ・ シニアカレッジで八幡新田見守りネットワークに発表いただいた。
 - ④ 「活動に参加したいけど参加できない人」を活動者にお伝えし、地域の方と一緒に考えた。
 - ⑤ 談笑することがお互いの理解につながり自然発生的な支えあいが期待できることを伝えた
 - ・ “3丁目さくらカフェ”(城3) “カフェみなみ”(南大社)
 - “さくら会”(東4) “大木カフェ”(大木) ふれあいサロン(東1)
 - 他、各地区のカフェ
 - ⑥ カフェ活動の場合、地域の方の特技を披露することがその方の喜びにつながり、自然発生的な支えあいが期待できることを伝えた。
 - ・ “3丁目さくらカフェ”(城3) “さくら会”(東4) “カフェにしよん” その他各地区のカフェ
 - ⑦ カフェ活動の活動者へ、食中毒予防講習会の受講を推奨した。
 - ・ 参加者 26名
- (5) 町内の企業のみなさまへ
- ① 企業が取り組んでいる地域活動をホームページや『ふくしのわ』で紹介した。
 - ・ シグマ技研株式会社(員弁川沿清掃活動)
 - ADEKA三重工場(地域清掃活動)

⑯ 活動支援

- 地域福祉の向上に資する活動や団体に助成した。
- (1) 地域福祉活動助成事業
地域福祉座談会を通じて生まれた活動に要する経費の一部を助成した。
- ① ろくちゃんカフェ(六把野新田) 50,000円
カフェに使用する備品
 - ② ふれあいカフェ南大社(南大社自治会) 100,000円
カフェに使用する備品
 - ③ カフェにしよん(笹尾西4丁目) 50,000円
カフェに使用する備品
 - ④ 北大社自治会 100,000円
カフェに使用する備品
 - ⑤ 大木地区地域座談会 100,000円
カフェに使用する備品
 - ⑥ 長深自治会 100,000円
カフェに使用する備品
 - ⑦ 八幡新田見守りネットワーク(八幡新田自治会) 100,000円
外出サポート活動に使用する備品
- (2) 小地域福祉活動助成事業
23自治会 480,000円(3月末現在)

	<p>(3) 環境の整備</p> <p>① 事務作業応援コーナー 地域福祉活動に取り組む個人、団体が自由に使用できる事務作業コーナーを設置し利用を促進した。 * 複合機の利用実績／白黒130枚 カラー54枚</p> <p>② ボランティア保険 安心して活動するため、ボランティア活動保険の加入を勧めた。 * ボランティア活動保険加入実績／776件</p>
<p>⑰ 生活支援型配食サービス</p>	<p>在宅のひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に昼食を配達するとともに安否確認し、留守の場合は改めて自宅を訪問して状況を確認した。</p> <p>(1) 配食 * 委託先／社会福祉法人いずみ * 利用日 月曜日から金曜日の中で希望する日 * 個人負担金 300円(減額対象者2名 150円) * 利用食数 3,039食 利用登録者21名 利用実人数1日平均13人</p> <p>(2) 安否確認 * 配達時に留守で安否確認した件数 16件 * 配達時、後に体調不良の対応をした件数 1件 * 家族(ケアマネジャー)・民生委員に連絡した件数 4件</p>
<p>⑱ ふれあい型配食サービス</p>	<p>ひとり暮らし高齢者を中心とした対象者に、ふれあいを目的に昼食を配達した8月から毎週水・金曜日利用できるようにした。 ※ 8月から利用日を変更した。 第2・4水曜日⇒毎週水曜日 第1～4金曜日⇒毎週金曜日 利用回数を増やした方 25人</p> <p>(1) 配食 * 委託先 水曜日 就労継続支援A型ピュア(調理) ※配達は社協臨時職員 金曜日 わくわくボランティア(調理・配達) * 利用日 水曜日と金曜日の希望する日 * 個人負担金 300円 * 利用食数 1,883食 利用登録者 39名 利用実人数平均 21人</p> <p>(2) 安否確認 * 配達時に留守で安否確認した件数 37件 * 家族(ケアマネジャー)・民生委員に連絡した件数 14件</p> <p>(3) 食中毒講習会 日 時 令和元年5月10日(金) 内 容 食中毒予防講習会 講 師 桑名保健所 参加者 37名</p>

<p>⑱ シニアカレッジ</p>	<p>本年度44年続いているシニアカレッジを受講することによって地域福祉に関心を持ってもらい、卒業後、地域福祉活動のリーダーになっていただけるように取り組んだ。卒業生の84%の方がシニアカレッジを機会に地域に関心をもつようになった。</p> <p>開催日 6月～3月までの月1回 会場 ふれあいセンター等 修了生 30名</p> <p>内容 東員町の現状(東員町長)、教育行政と生涯学習(東員町教育長)、高齢化の現状(東員町役場)、地域活動の現状(地域活動団体の方)他</p> <ul style="list-style-type: none"> * シニアカレッジ42期生卒業生の集い 取材 日時：令和元年12月16日(月) 内容：猪名部神社で講演.昼食をとりながら交流 * シニアカレッジ43期生卒業生の集い 取材 日時：令和2年3月20日(金) 内容：昼食をとりながら交流
<p>⑳ 地域ボランティア制度</p>	<p>地域ボランティア制度への登録をきっかけに地域福祉に目を向けてもらえるよう、登録説明会では地域福祉に関して意見交換する時間を設けた。</p> <p>① 登録状況/登録者のべ124名・活動先24ヵ所 活動先：介護付有料老人ホームあおいナッシングホームもも、特別養護老人ホームバークレジデンス、東員町デイベンセンターふれあいショートステイグループホームとういん、笹尾デイベンセンターみんなの家、就労継続支援A型事業所シガホームとういんとういんデイベンセンターとういんシニアハウス、各カフェ 各保・幼稚園6園、各小学校6校、各中学校2校、教育委員会、社会福祉協議会 ※今年度から各地区のカフェ活動が登録可能になった。</p> <p>② 広報 東4お茶しませんか、東4ひなたぼっこ、南大社ハッピー会、西4健遊会 ホームページ・フェイスブック、広報とういん</p> <p>③ 地域ボランティア制度について行政との打ち合わせ(6回) ④ 登録希望者説明会の開催(1回/月)(2回/出張説明会) ⑤ 登録者と活動先とのマッチング/5回 ⑥ カフェ活動が活動先になったので、カフェ活動者へ説明・登録手続きを支援した。 ⑦ 登録者交流会の開催 お茶の楽しみ方と効用について学ぶ会【県出前講座】(10/10開催予定) ⑧ 登録者対象の講座開催 傾聴講座(1回/年)、PC講座(10回/年) ⑨ ポイント交換率 86.25%</p>
<p>㉑ 心配ごと相談 無料弁護士相談</p>	<p>弁護士一般相談員(有資格者・学識経験者・元民生委員)が相談に応じた。法律的な相談に対しては、弁護士が助言したり専門機関を紹介した。</p> <p>* 毎月5日(土・日・祝の場合は翌日)及び、第3日曜日 心配ごと相談及び弁護士相談開催回数 24回 相談件数 72件(弁護士67件)</p>
<p>㉒ 当事者団体等の育成支援</p>	<p>① 東員障がい児(者)友の会 助成金の交付、各種事業の開催支援、広報活動の支援等</p> <p>② 東員町障がい児(者)親の会 助成金の交付</p> <p>③ 東員町遺族会 助成金の交付、戦没者追悼式の参加支援、町戦没者追悼式の開催協力 行政との連絡調整等</p> <p>④ いなべ地区視覚障がい者協会 助成金の交付</p> <p>⑤ いなべ市聴覚障がい者福祉協会東員支部 助成金の交付</p> <p>⑥ 東員町福祉事業所連絡協議会</p>

	<p>助成金の交付、団体運営・企画実施にかかる支援</p> <p>⑦ 東員町シニアクラブ連合会 理事会・企画委員会への参加、各種事業の開催・広報活動の支援</p> <p>⑧ 東員町母子寡婦福祉会 広報活動の支援等</p>
<p>⑳ 子育て支援事業</p>	<p>子育て中の親、子ども同士が気軽に集える居場所を作り、交流した。また、地域でイベントを開催することで、地域内の交流が充実した。</p> <p>委託先/ 子育て支援ネット</p> <p>(1) 子育て応援ルームの運営 開催日 月・水/週・延べ82日 ※新型コロナウイルス感染防止のため 3/4～30は中止 会場 ふれあいセンター2階 参加者 延1328人(3月末現在)</p> <p>(2) イベントの開催 開催日 5月・7月・10月・12月・1月 会場 ふれあいセンター2階 内容 歌と手遊び(5/20),お茶会(6/5),七夕まつり(7/3),夏の親子教室(9/4),ハロウィン(10/30),クリスマス会(12/18)</p> <p>(3) 子育て支援「ほっと」 開催日と会場 城山中央集会所(6/21)鳥取集落センター(11/15) 六把野新田コミュニティーセンター (1/16) 内容 他の親子との交流、お茶会、おもちゃ遊び、リズム遊び等 参加者 94 人 (3月末現在)</p> <p>(4) 子育て支援ネット会議への参加 開催 毎月1回(8月は休み)</p>
<p>㉑ 災害ボランティアセンター</p>	<p>自治会等と協働し、災害時も平時も住民同士で助け合い、支えあえるまちづくりに取り組んだ。</p> <p>① 運営準備検討会を経て、7月1日「とういん災害ささえあい委員会」を発足「被災された方の立場や目線で」、地域住民と『平時』からの“たすけあい”“支えあい”の二本柱を理念とする。 委員を委嘱 ⇒ 民生委員、障がい者福祉関係者、福祉事業関係者、シニアクラブ関係者、防災活動実践者、危険業務経験者</p> <p>② 毎月定例でささえあい委員会を開催し、災害ボランティアセンターのガイドラインや様式の改善、体制づくりなど検討した。</p> <p>③ 松阪市で開催された防災講演会(5/25)を、自治会長、自治会関係者、委員、事務局が受講した。</p> <p>④ 町総合防災訓練(9/1)を委員・事務局で見学、いなべ市で開催された伊勢湾台風60年防災訓練・生活再建講座(9/1)に委員・事務局で出席。</p> <p>⑤ 町内で発生した豪雨(9/4深夜～翌朝)による災害への対応を検討し、行政と連携の上、総合相談窓口「とういん災害ささえあい相談所」を社協内に設置した。(相談件数：14件)</p>

<p>②⑤ 町内福祉事業 所連絡協議会</p>	<p>町内福祉事業所間の情報交換と福祉職員の資質向上、地域福祉課題解決のため、分野を超えた福祉専門機関のネットワーク作りに取り組んだ。</p> <p>(1)運営 ① 役員会 (5/22) ・ (10/23) ・ (2/19) 開催 ② 総会 (5/22) の開催</p> <p>(2) 研修会 ① 第1回研修会 日時 : 令和元年5月22日 (水) 18:15~19 : 45 内容 : 「事業所で使える体操とレクレーション」 講師 : (株)GOBOU 代表取締役 築瀬 寛氏 参加者数80名</p> <p>② 第2回研修会 日時 : 令和元年10月23日 (水) 18:00~19 : 45 内容 : 排泄ケア勉強会 講師 : ユニ・チャーム (株) 営業戦略開発本部 Career Trainig 促進部 播本 昌子氏</p>
<p>②⑥ 共同募金委員 会の活動支援</p>	<p>「地域福祉を推進するための募金」として共同募金運動を推進した。 9月から、共同募金委員会の会長に水谷隆氏に就任いただいた。</p> <p>(1)広報 ① 『ふくしのわ』(10/4発行) ホームページで運動情報を発信予定 ② 啓発ポスター、チラシを町内各所へ配架 ③ 共同募金の趣旨や使途に特化した町独自のPRチラシを作成・各戸配布</p> <p>(2)運営 ① 運営委員会 (6/14.9/13.3/27) の開催 ② 三重県共同募金会主催の会議に参加</p> <p>(3)共同募金運動への協力依頼 * 9月19日(木)社協主催の自治会長会で説明してご協力をお願いした * 東員町商工会理事会、東員町シニアクラブ連合会理事会 * 東員町校長会、東員町園長会 * 商工会 * 町内の商店法人企業への訪問依頼 * 実績総額 3,947,011円 目標額3,950,300円 達成率99.9%</p>

利用支援分野

⑳ 福祉有償運送事業	4名の利用者が定期的に利用している状況 車両は軽リフトで対応している。 年間のべ利用回数 126回
㉑ 介護タクシー助成事業	要支援1・2 要介護1・2に認定された方に介護タクシー券を発行して在宅高齢者の外出を促した。 * 2,600円助成/年 * 26名申請・交付 * 協力事業所 7事業所
㉒ 日常生活自立支援事業	今年度から運営体制が変更になり町社協で専門員を担い、町社協が生活支援員と雇用契約することになった。 日常金銭管理を生活支援員と共に行った。金銭管理を通して日常的に本人と関わり生活上の不安の解消に努めた。 * 利用者 7名(3月末現在) * 生活支援員 5名(男性2名 女性3名) * 相談援助回数(電話相談,関係機関との調整,契約までの調整等) 250回 * 内、日常的金銭管理の支援回数(日常生活の出金,公共料金の支払い等) 127回(支援員105回 専門員22回)
㉓ 日常的金銭管理サービス事業	判断能力のある概ね65歳以上の高齢者や20歳以上の身体障がい者等を対象に金融機関の手続きを代行した。 * 日常的金銭管理サービス利用者 1名 * 利用希望の相談件数 0件
㉔ 福祉用具の貸出	短期間あるいは緊急に車いす等が必要な方に無料で貸し出した。また、そこで得た情報を民生委員に提供し、地域の福祉支援に役立てた。 入院されている方が一時帰宅されたときに自宅で入浴できるよう、シャワーチェアの貸出を開始した。 貸出件数 車いす112件 スロープ10件 シャワーチェア6件 貸出理由 通院56件 買い物33件 一時退院6件 日帰りの娯楽や行楽15件 (複数回答可) 旅行18件 通学0件 その他29件(日常生活、試用など)
㉕ 公的資金貸付事業	(1)生活福祉資金、たすけあい資金 生活費などの相談に対応し、公的貸付資金の申請、償還支援等を行った。(3月末現在) ① 利用相談 157件 (17名) ② 調査委員会 3件 (教育支援資金・就学支度費、教育支援資金・教育支援費/就学支度費、たすけあい資金) ③ 貸付決定 3件 (教育支援資金・就学支度費、教育支援資金・教育支援費/就学支度費、たすけあい資金) ④ 完済 2件(緊急小口資金、たすけあい資金) ⑤ 滞納者面談 0件 ⑥ 貸付状況 福祉費 2件 緊急小口資金 6件 教育支援資金(教育支援費) 4件 教育支援資金(就学支度費) 7件 総合支援資金 1件 たすけあい資金 1件

<p>③ 生活困窮者自立相談支援</p>	<p>(1)生活困窮者自立支援事業 三重県社会福祉協議会の三重県生活相談支援センター相談員や東員町役場地域福祉課の困窮支援担当者と連携して面談や定期的な状況を確認、利用可能な制度を提案した。 具体的には、困窮している相談者の生活状況や訴えを聞き取り、個々に応じた家計、就労、医療機関の受診、進学、年金等各種給付の受給手続き、また、法律相談等の情報を提供した。状況により適切な窓口へ引き継いだ。(3月末現在)</p> <p>① 生活相談・支援 31 人(のべ267回) ※生活福祉資金関係は 17人 (のべ157回)</p> <p>② 家計相談 0 人(0回)</p> <p>③ 緊急食糧支援 13 人(のべ19回)</p> <p>④ 緊急物品等支援 2 人 (2回)</p> <p>(2)東員町生活困窮者自立支援食糧提供事業 赤い羽根共同募金を財源に、生活困窮世帯に緊急的に食糧を提供する事業を開始した。(H30.7月～)</p> <p>① 生活維持及び再建に向けた相談支援のきっかけ、見守りを目的にした社会福祉法人いずみのお弁当とパンの利用券</p> <p>② 当日、翌日の食事に困っている家庭に提供できるよう、そのまま食べられるおにぎりを備蓄した(5年保存可能)。お困りの方に提供し、生活再建のきっかけにした。 利用7人+火災での支援1件 (3月末現在)</p> <p>(3)法外援護による支援 法外援護(現行の援護制度の対象にならないが、緊急一時的に命に関わる困窮状態である方に上限1000円を貸し出す)を活用して緊急一時的な生活支援を行い、これを機に就労に向けて助言をしたり他の制度に結び、生活再建を支援した。(3月末現在) 町内 6人 町外 0人</p>
----------------------	---

介護保険サービス・障がい者福祉サービス分野

- ③④ 訪問介護
- ① 昨年度より、実績は30%伸びた。他事業所の居宅からの依頼も増えている。
 - ② 課題としては、登録ヘルパーの高齢化、募集をしても、新しい登録ヘルパーが入らない状況である。ヘルパーが不足、シフトを組むのが大変な状況である。
 - ③ 60代、70代の利用者が増えている。利用者を取りまく家族の関係も複雑なケースが増えている。

目標に対する請求額 (単位：千円)

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標額	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	1,351	16,212
請求額	1,520	1,545	1,480	1,576	1,623	1,756	2,099	2,097	2,193	1,882	1,636	1,718	21,125

介護度別利用者総人数

総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	4	4	8	8	34	15	32	32	19	8	164
要介護1	28	29	28	31	31	28	29	22	24	23	28	43	344
要介護2	144	146	139	154	149	126	135	120	133	123	89	103	1,561
要介護3	72	71	59	57	63	96	109	124	109	73	76	83	992
要介護4	25	32	33	34	29	31	44	61	58	52	64	93	556
要介護5	110	109	100	110	120	128	169	164	187	173	138	102	1,610
合計	379	387	363	390	400	417	520	506	543	476	414	432	5,227
目標値	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	356	4,272

- ③⑤ 障がい児者訪問介護
- ① 実績は、昨年より27%伸びた。
 - ② 援助の内容により、2人派遣が多く、また、直前にプランが変わる為、ヘルパーのシフトを組むのが大変であった。
 - ③ 精神の利用者が増えている。対応の仕方を、相談支援専門員、サービス事業所と密にとる必要がある。

目標に対する請求額 (単位：千円)

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標額	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	1,499	17,988
請求額	1,681	1,681	1,557	1,726	1,653	1,621	1,728	1,652	1,743	1,670	1,671	1,433	19,816

障がいサービス別総人数

総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	299	300	270	301	285	276	308	281	301	287	282	226	3,416
家事援助	77	83	83	76	87	67	80	100	104	130	126	191	1,204
合計	376	383	353	377	372	343	388	381	405	417	408	417	4,620
目標値	343	343	343	343	343	343	343	343	343	343	343	343	4,116

- ③⑥ 通所介護
- ① 昨年度より実績が3.8%の伸びた。
 - ② 定員を40名から45名に変更し、利用者増加に努めた。
 - ③ 古い年式の車両を廃車し、新車を購入した。ドライブレコーダーを設置することにより安全性を高めた。
 - ④ 利用者が集中する運動機器の増設を行い待ち時間の短縮を行った。
 - ⑤ 古いパソコンを処分し新しいパソコンを2台導入することにより、業務の効率化を図った。
 - ⑥ テーブルレイアウトを変更することにより、職員、利用者がスムーズに動けるようにした。
 - ⑦ 新型コロナウイルス感染防止のため職員、利用者の手指消毒を徹底すると共に、運動機材、など備品もアルコール消毒を行った。
 - ⑧ 感染症対策のため空気清浄機を2台設置した。

目標に対する請求額 (単位：千円)

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標額	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	8,875	106,500
請求額	8,283	9,124	8,373	9,186	8,616	8,164	8,895	8,792	7,828	7,397	8,178	8,373	101,209

介護度別利用者総人数

総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	7	3	4	4	3	12	13	13	10	4	4	4	81
要支援1	17	20	24	18	20	9	20	19	16	16	15	19	213
要支援2	24	28	27	32	30	45	51	46	40	38	45	48	454
要介護1	198	214	182	223	214	188	203	221	183	167	219	236	2,448
要介護2	296	368	316	310	306	311	319	319	295	282	272	257	3,651
要介護3	91	92	142	139	124	121	142	129	113	124	130	150	1,497
要介護4	101	66	69	81	89	76	80	76	70	63	61	65	897
要介護5	68	57	53	52	37	47	49	48	39	35	49	55	589
合計	802	848	817	859	823	809	877	871	766	729	795	834	9,830
目標値	835	839	839	839	839	839	839	839	839	839	839	839	10,064

③⑦ 日中一時支援

- ① 依頼に対しての受け入れ態勢を確保していたが、今年度は新規依頼はなかった。
- ② 厚労省や県等のホームページ、県の担当者等への電話での確認等を実施し、共生型生活介護の要件を満たせるという判断で認識している。現在は、様々な状況を踏まえた指定の検討を継続している。

日中一時支援利用者総数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	15	17	17	18	21	15	14	17	14	15	16	14	193
目標値	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	227

③⑧ 居宅介護支援

- ① 目標値をめざし、利用者の受け入れをしている。新規依頼には可能な限り積極的に対応しているが、昨年度より、11.4%減となった。在宅での看取りは増えたが、新規利用者に対して入院死亡の件数が多く実績としては伸び悩んだ。
- ② 新人ケアマネや新規については、主任ケアマネの同行を前提として進め初回に限らず、2回目以降の訪問についても、状況に応じていく。
- ③ マニュアルに、可能な限り沿って行った。10月からは自己点検を行い、各ケアマネが半期での取り組みの振り返りを行い、マニュアル等の、見直しも行った。
- ④ 個別事例において、専門職と連携をしながら、保険外サービスのプランの位置づけや、地域へ理解を求める機会等があった。具体的な、提案についても、引き続き行っていく。

目標に対する請求額 (単位：千円)

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標額	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	2,771	33,258
請求額	2,233	2,208	2,265	2,223	2,211	2,129	2,214	2,160	2,235	2,127	2,186	2,189	26,380

